

# 羅針盤

第11号(通算 262号)  
平成28年8月26日(金) 発行  
岡山県総合教育センター  
Tel (0866)56-9101 Fax (0866)56-9121

(担当・特別支援教育部)

## 2学期に向けて

### ～特別な支援の必要な児童生徒の指導・支援を考える～

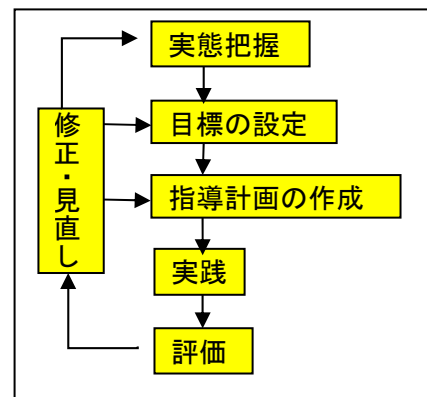
夏休みも終わりに近づいてきました。2学期に向けて、学習指導に関すること、集団づくりに関すること、行事に向けて…等、様々な準備に取り組んでおられることでしょうか。また、一人一人の児童生徒の力をどう伸ばしていくかといった個に応じた指導の在り方についても考えているところではないでしょうか。特に、特別な支援の必要な児童生徒をどう理解し、2学期からどのように指導・支援をしていけばよいかと悩んでいる方も多いのではないかと思います。

「子供たちが何に困っているのか。」「その困っている要因は何か。」といった実態を捉え直したり、それに基づいて指導・支援を見直したりすることが大切です。1学期に作成した個別の教育支援計画を活用し、今後の指導・支援を考えてみてはどうでしょうか？

#### 個別の教育支援計画の活用

右の図は、個別の教育支援計画の作成・指導の流れを表しています。この図にあるように、実践を行った後は評価をし、修正・見直しを行うことが大切になってきます。1学期に作成した個別の教育支援計画を見て、次のようなポイントで振り返ってみましょう。

#### 個別の支援計画の作成・指導の流れ



#### 〈子供の達成度〉

- 子供の能力にどのような変化がみられたか。
- 目標としたスキルの獲得は実現されたか。
- 目標がどこまで達成されたか。
- 残された課題は何なのか。

#### 〈指導者の指導・支援に対する評価〉

- 目標は妥当だったか。
- 取り上げる課題の内容は適切だったか。
- 課題の順序は適切だったか。
- 手だての量や質は適切だったか。

#### 【例えばこんな修正を……】

(短期目標)

授業中に困ったことが起こった際に、~~担任や支援員に~~自分から助けを求め  
**担任以外の教師にも**  
ることができる。(8/26 修正)  
※修正前のものが見えるように  
ラインを引いて修正する。

このような振り返りができると…

子供を見ていく際の視  
点がはっきりし、実態  
をより詳細に捉えるこ  
とができる。

2学期の指導の方向性  
が見え、系統的な指  
導・支援が可能となる。

※岡山県教育庁特別  
支援教育課ホームペ  
ージには、様式例や  
記入例、留意点等が  
示されています。是  
非御参照ください。